

キャンプファイヤーのイメージがつかめた

第3回連続講座



「先輩のワザ伝授」連続講座第3回「みんなが仲良くなるレクリエーション講座」が5月8日開かれ新採用教職員含め25人が参加。楽しい内容に「普段の合同にできそうなゲームやネタを教えていただいてよかった」(女性・青年)「キャンプファイヤーを一泊移住でやる予定です。イメージをつかむことができました」(男性・青年)

この感想が寄せられました。講師が用意した小道具が豊富でキャンプファイヤーの会場がイメージでき、参加者から驚きの声が上がりました。開会後は流れるような展開で次々と出し物、指導者の心得、ゲームの進め方などが「伝授」されました。子どもたちは静かにさせる技では、子どもたちの目をつむらせておいて、ハンドベルを軽くたたき「音が聞こえている間だけ手をあげなさい」と指示すると、みんなが真剣に聞いたので、シーンとなりました。

第4回 6月19日(土) 14時
小学校・中学校を結ぶ生活指導
第5回 7月3日(土) 14時
はじめての個人懇談会
アネックスパル法円坂
(谷町四丁目・森之宮)

市対連

市会開会日に子どもを貧困から守れ



淀屋橋での宣伝行動(5月28日)

5・6月定例会市会が始まる5月28日、市対連(大阪市対策連絡会議)は、大阪市開会日昼休み宣伝行動を淀屋橋で行い、大阪市教も参加しました。大阪市の2010年度予算は、就学援助費の予算削減など

市民の暮らし、サービスにかかわる予算を削減する一方で、夢洲造成地の基盤整備や阪神高速泥川左岸線2期事業など無駄な大型開発をすずめ、市民交流センター・人権総合センターを新たに作るなど同和事業の終結に背

を向けるものとなっています。大阪市教は宣伝の中で、ムタな大型開発や同和事業をやめて、市独自の30人学級実現や中学校の学費学費事務職員全廃計画撤回、学校維持運営費の削減見直しと復元、就学援助制度の改善と拡充など、教育条件整備や子どもを貧困から守る施策の必要性を市民に訴えました。

出退勤ICカード 申し入れ

休憩時間確保、勤務時間割振り

ICカード(教職員勤務状況事務処理システム)の学校園における説明が極めて不十分であるばかりか、誤った説明、休憩時間取得の権利侵害さえおきている中で、大阪市教は校長への「システム導入に関わる勤務時間の割振り変更、休憩時間の確保についての申し入れ」のとりくみをすすめています。

長時間勤務解消のための勤務時間管理は使用者(市教委・管理職)の責任であり、長時間勤務を放置し、心身の健康問題が生じた場合、管理職は安全配慮義務違反として責任が問われます。休憩時間は「与えなければならぬ」ものであり「明示す

る必要がある」こと等が管理職の責務であることは市教委文書も明らかにしています。「申し入れ」は、全容を教職員に周知すること、登校指導や諸行事による勤務時間の割振り変更の適切な運用、休憩時間の設定・明示、取得できない場合の変更、家庭訪問・出張等に際しての休憩時間取得保障、労働安全衛生委員会での長時間勤務の解消のための方策検討等を求めています。

幼稚園フェスタ

お母さんが実行委員



巨額の幼稚園フェスタが5月15日土曜日、クレオ大阪南で行われました。80名の親子の参加で楽しんで楽しまれました。そのあと、全員で手をつないでながよし遊びをしたり、人形劇を觀賞したりしました。

お母さんの実行委員さんが参加申し込みや会計をまとめている園もあり主体的に参加に感心させられました。春夏秋と、毎年この幼稚園フェスタのとりくみを楽しみにしているお母さんたちの期待に応えられるようこれからも頑張っていきたいと思っております。

市労組連は夏期一時金の団体交渉で、5月11日、夏休休暇5日付与の回答を得、26日の交渉では、連続した年収減や昨年4月から強行されている賞金カットなど生活悪化が深刻で、職員の勤務意欲向上のためにも、生活改善に結びつく回答を求めました。また非正規職員への一時金支給も強く求めました。

市側は期末手当1・25月、勤勉手当については0・7月を原資とし、標準B評価は0・685月(Cは0・65月、Dは0・15月)を6月

30日支給と回答しました。市労組連は5月26日第21回定期大会を開催し、2010年度運動方針と役員選出を行いました。大阪市教は久家書記次長が市費学校事務職員全廃反対などたまたかの中で組合加入が続いていることを発言しました。

退職された皆さんを囲む会

長い間ご苦勞様でした



退職された皆さんを囲む会を5月28日、パル法円坂で開催。退職者から「組合に支えられて最後まで勤めることができました」との発言もありました。市退教の皆さんも含め多数参加し懇談。再任用教職員の組合加入もありました。

小学校で1学年が5月に学級減・変更となりました。これまで大阪市では入学式、始業式で学級編制発表後は児童・生徒の転出があっても学級減を行わない運用が続いていました。大阪市教は5月10日、「学級編制に関

する申し入れ」を市教委に提出し、大阪市の学級編制、運用について説明すること、学級編制発表後は児童・生徒の転出があっても学級減を行わないこと、年度途中の教職員異動基準を明らかにすることなどを求めました。

市労組連が団体交渉 夏期一時金1・935月

市労組連は夏期一時金の団体交渉で、5月11日、夏休休暇5日付与の回答を得、26日の交渉では、連続した年収減や昨年4月から強行されている賞金カットなど生活悪化が深刻で、職員の勤務意欲向上のためにも、生活改善に結びつく回答を求めました。また非正規職員への一時金支給も強く求めました。

年度途中の学級減 市教委に申し入れ

小学校で1学年が5月に学級減・変更となりました。これまで大阪市では入学式、始業式で学級編制発表後は児童・生徒の転出があっても学級減を行わない運用が続いていました。大阪市教は5月10日、「学級編制に関

